参考資料２

令和７年度第２回みえ森と緑の県民税評価委員会　議事録

開催日程：令和７年９月１日(月)13時30分から15時45分まで
開催場所：アスト津　４階　アストホール
出席委員：７名
三田 泰雅　委員長
池山 敦　副委員長
井野 和正　委員
木村 京子　委員
橋本 直行　委員
林　拙郎　委員　※オンライン出席
森下 ゆう子 委員

１　開会

２　あいさつ（福島次長）

３　議事

（事務局）

評価委員会の開催は、評価委員会条例において、「過半数が出席しなければ開くことができない。」と定められています。

本日は、オンラインでの出席を含め、委員７名にご出席をいただいていますので、本会議は成立していることをご報告いたします。

評価委員会につきましては、すべて公開で行います。また、評価委員会の資料は、議事録も含めまして、後日ホームページに掲載し、広く公開することといたします。

それでは、議事の進行につきまして、委員長どうぞよろしくお願いいたします。

（委員長）

委員長の三田でございます。どうぞよろしくお願いします。

早速ですが、本日の委員会の進め方について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

【事項書に基づき説明】

（委員長）

ここまでの説明で質問などありましたらお願いします。

【質問・意見なし】

（委員長）
それでは次に、令和６年度基金事業の評価につきまして、説明をお願いします。

（事務局）

【資料１に基づき説明】

（委員長）
前回委員会の議論を受けて評価の見直しを行ったということですが、質問や意見などありましたらお願いします。

【質問・意見なし】

（委員長）
それでは、令和６年度基金事業の実施後の評価・提言につきまして、事務局から説明をお願いします。

（事務局）
それでは、令和６年度基金事業の実施後の評価・提言の案について説明いたします。
評価・提言に係る意見については、本日欠席の３名の委員の皆さまにも照会を行いましたが、特に意見はございませんでしたので、ご報告いたします。

【「災害緩衝林整備事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
説明いただいた資料２と、資料１は、どのように関連付いているのか教えてください。

（事務局）
資料２の４ページには、「災害緩衝林整備事業」の評価委員会における評価と、評価・提言の案を掲載しています。
資料１は、評価委員会における評価を整理したものとなっており、２ページの表の２段目に、「災害緩衝林整備事業」の評価を掲載しています。

（委員長）
他にご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
　評価・提言の案に「治山ダムの設置など他の取組とも連携しながら」とありますが、治山ダムは今後も設置を進めていく方針でしょうか。

（事務局）
　治山ダムは、県民税基金事業とは別の事業である「治山事業」で設置を進めています。今後も、国の補助金なども活用しながら取組を進めていく予定です。

（委員長）
次に、「災害に強い森林再生事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「災害に強い森林再生事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
　ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
　獣害対策として、シカの個体数管理などは行われているのでしょうか。

（事務局）
　獣害対策については、農林水産部獣害対策課が所管しており、管理計画に基づいた個体数管理が行われています。

（委員長）
　では、獣害対策課の取組との連携について、追記してはいかがでしょうか。

（事務局）
　当事業は、シカの食害による被害を受けた森林の再造林と獣害防護柵の設置に取り組むものです。獣害対策課が行う個体数管理について、評価・提言への追記は特に必要ないかと思います。

（委員長）
　了解しました。それでは、「災害に強い森林再生事業」の評価・提言については、原案のとおりとします。
　次に「森林情報基盤整備事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「森林情報基盤整備事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

【意見なし】

（委員長）

今年に入ってクマの話題が非常によく出ていることから、このたびの評価・提言に盛り込んでいきたいと考えています。もし入れるのであれば、「生物多様性推進事業」かと考えていますので、その際、皆さんからもご意見いただければと思います。

少し話が逸れましたが、「森林情報基盤整備事業」の評価・提言につきましては、原案のとおりとします。

次に「森を育む人づくりサポート体制整備事業」のうち、「みえ森林教育ビジョン推進事業」について、説明をお願いします。

（事務局）

【「みえ森林教育ビジョン推進事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

「森林や緑を大切に思い育む意識を県民に浸透させていくためには」とありますが、「浸透」のみでなく「啓発」という言葉を追記する必要があるのではないでしょうか。

（委員長）

「県民に啓発し浸透させていくためには」に修正したいと思います。

次に、「みえ森づくりサポートセンター運営事業」について、説明をお願いします。

（事務局）

【「みえ森づくりサポートセンター運営事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
昨年度と比べ、有効性の評価が「A」から「B」に下がっています。その要因や対応について、評価・提言に盛り込む必要はありませんでしょうか。

（委員長）
今年度評価が下がった理由、あるいは、昨年度何かを原因に評価が高かった理由などはあるのでしょうか。

（事務局）
昨年度は、評価・提言に「森林教育指導者数が増加している点について評価できる。」とありますので、この点が評価され「A」評価になったと考えています。

（委員長）
昨年度は、数値目標の達成度により評価が高かった一方、今年度は数値目標の達成度でなく、総合的に有効性を評価した結果「B」評価になったということだと思います。

（委員）
了解しました。

（委員長）
今年度も適切に事業が展開されていると思いますので、評価・提言としては、原案のとおりとします。
それでは、次に「みえ森林教育ステーション運営・整備事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「みえ森林教育ステーション運営・整備事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
事業別評価シートについて、「三重県民の森みえ森林教育ステーション」の中間報告、実績各時点での利用人数の経過が明確に確認できるよう、記載方法を工夫していただければと思います。
その他、ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
事業の目的が分かりにくいので教えていただけますでしょうか。

（事務局）
県では、「三重県民の森みえ森林教育ステーション」の運営に加え、県内各地で「みえ森林教育ステーション」の整備・認定を進めています。県民の皆さんが木にふれあうことができる拠点を整備し、たくさんの県民の皆さんに利用いただき、木や森林について身近に感じていただくことが事業の目的であると考えています。

（委員）
評価・提言に、「みえ森林教育ステーション」の利用促進に向けた記述のほか、整備の充実に関する記述も追記する必要があると思います。

（事務局）
整備の充実について追記するならば、当事業は、「みえ森林教育ステーション」を整備し、施設の利用促進を図るという流れで進めていきますので、評価・提言もそれに合わせた順番での記述がよいと思います。

（委員長）
それでは、最後の一行について、「みえ森林教育ステーションの整備の充実に加え、利用促進を図るための効果的な情報発信や認知度向上に向けたさらなる工夫に期待する。」と修正したいと思います。
次に、「みんなで取り組む三重の森づくり推進事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「みんなで取り組む三重の森づくり推進事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
当事業で取り組んでいる「森林フェスタ」について、今年度は開催されますでしょうか。

（事務局）
今年度は、10月12日日曜日に、尾鷲市の三重県立熊野古道センターにおいて開催を予定しています。

（委員長）
評価・提言については、原案のとおりとします。

　次に「生物多様性推進事業」について、説明をお願いします。

（事務局）

【「生物多様性推進事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

　ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

　「など」と「等」の使い分けについて教えてください。

（事務局）

　基本的に名詞の後は「等」としていますが、事務局において再度全ての評価・提言案を確認し、考え方を整理・統一のうえ、修正させていただきます。

（委員長）

　生物多様性の保全は、県民の豊かな生活に寄与するものと思いますので、そのような記述を盛り込んでいただければと思います。

　その他、ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

　当事業は、昨年度に比べ、情報発信度の評価が下がっています。評価・提言には、普及啓発の工夫について記述があるので、これが情報発信の改善と捉えることもできますが、是非、情報発信の改善に向けた記述はしっかりと記載した方がいいと思います。今年度情報発信度の評価が下がったことについて、事務局の見解を聞かせてください。

（事務局）

　当事業について、評価のとおり、情報発信が弱かったと認識していますので、今後工夫しながら情報発信に努めていきたいと考えています。

（委員長）

　それでは、ご意見をふまえ、「普及啓発」の記述を「情報発信」に修正したいと思います。

　その他、ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

　レッドデータブックが今後発刊されると思いますので、レッドデータの活用についても記述してはいかがでしょうか。

（委員長）
　それでは、レッドデータブックの活用について、追記したいと思います。
　その他、ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
　先ほど委員長がクマのことをおっしゃっていたと思いますが、追記しなくてもよろしいでしょうか。

（委員長）
　先ほどの、追記をお願いしました「生物多様性の保全は県民の豊かな生活に寄与する。」といった記述に盛り込んだつもりでいましたが、いかがでしょうか。

（委員）
　生物多様性の保全と、クマなど危険動物への対策は、概念が合わない気がします。

（委員）
　クマの件については、次に議論する「森林とふれあう自然公園環境整備事業」において、「学ぶ機会の創出」といった記述を盛り込んでもいいかもしれません。

（委員長）
　了解しました。それでは、当事業の評価・提言の修正はここまでにして、次の「森林とふれあう自然公園環境整備事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
　【「森林とふれあう自然公園環境整備事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
　ご意見、ご質問などございましたらお願いします。
　評価・提言に、「ツアーやイベントの造成」とありますが、「造成」が分かりにくいので修正できますでしょうか。

（事務局）
　「開催」に修正します。

（委員長）
　その他、ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
先ほどのクマの件もありますので、県民の皆さんが、イベントやツアーを通じて、自然や野生の生き物との距離感を学ぶといった記述を追記してはいかがでしょうか。

（委員長）
それでは、ツアーやイベントの目的の部分を、「県民が自然との共生を学ぶ場の創出に向けて」に修正したいと思います。
ここで一旦休憩としまして、14時55分から再開したいと思います。

【休憩】

（委員長）
それでは、市町交付金事業のうち、連携枠の「流域防災機能強化対策事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「流域防災機能強化対策事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
ご意見、ご質問などございましたらお願いします。
当事業について、昨年度に比べると評価が下がっていますが、原因はどのように分析されていますか。

（事務局）
令和５年度事業では、すべてＡ評価と大変高い評価をいただきました。令和６年度事業においても取組内容が大きく変わったこともなく、はっきりとした原因については掴みきれていません。

（委員長）
当事業の近年の評価結果はどのような状況でしょうか。

（事務局）
一昨年以前の評価については、資料が手元になく確認できません。申し訳ございません。令和５年度事業は高い評価をいただき、今回すべてＢ評価に下がったということで、評価結果をしっかりと受け止め、事業の改善を図っていくべきであると認識しています。

（委員長）
　Ｂ評価ですので、とりわけ何か改善を要する評価ではないとは思いますが、令和５年度事業と比べ評価が下がっているという点で、評価・提言に何か文言を加えてもよいのではと思います。

（委員）
　評価・提言に「森林を面的に整備する」とありますが、森林整備の目的が分かりにくいため、「防災上」などの言葉を加えると明確になると思います。

（委員長）
　それでは、森林整備の目的を明確化するため、「防災上」という言葉を加えたいと思います。
　当事業は、一定の評価（Ｂ評価）は得ているということで、評価・提言の修正は、以上としたいと思います。
　次に、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「災害からライフラインを守る事前伐採事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
　ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
　評価・提言に「市町等関係者」とありますが、市町以外の関係者とは何を指すのでしょうか。

（事務局）
　ライフライン事業者を指しますので、「市町やライフライン事業者」に修正して明確化したいと思います。

（委員長）
　それでは、次に「県民参加の植樹祭事業」について、説明をお願いします。

（事務局）
【「県民参加の植樹祭事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
　ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）
植樹祭には15名参加いただいたということですが、どのような方が参加されていたのでしょうか。また、参加者が少ないなかで、県民の皆さんの森林を慈しむ心を育むためには、県民の皆さんへの積極的な情報発信が重要だと思います。令和７年度はどのように開催し、どのように情報発信に取り組んでいくのか教えて下さい。

（事務局）
昨年度は、志摩市が植樹祭を開催し、市ホームページで、広く県民の皆さんに参加を募り、子どもから大人まで、志摩市民に加え他市町にお住まいの方にも参加していただいたと聞いています。
今年度は、県が開催する森林フェスタとあわせ、尾鷲市での開催を予定しています。参加人数は、マイクロバスの乗り入れや現場状況などにより少人数になってしまうことが想定されます。県と市町が連携した参加者募集に加え、県民の皆さんに向けた事後の情報発信に積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

（委員長）
当事業は、招致を予定している令和13年の全国植樹祭に向けた気運醸成が目的にあると思いますので、それにつなげていくための取組であることを追記できればと思いますがいかがでしょうか。

（事務局）
県民参加の植樹祭は、令和５年度まで県が主催して開催してきましたが、第３期（令和６年度）からは、全国植樹祭に向けて市町が主体となって取り組んでいただいているところです。委員長のご意見をふまえ、評価・提言を修正したいと思います。

（委員長）
次に、市町交付金（基本枠）事業について、説明をお願いします。

（事務局）
【「市町交付金（基本枠）事業」の評価・提言について説明】

（委員長）
ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

市町における各事業の評価を見ていると、情報発信度にＣ評価が多いので、情報発信については言及していく必要があると思います。

これまでの議論でも、山中にのぼり旗を立てて情報発信になるだろうかといった議論もあったと思います。各市町における効果的な情報発信に向けてしっかりと取り組んでいく必要があると思いますので、そのような文言を加えていただければと思います。

（委員長）

それでは、効果的な情報発信に向けた県と市町の連携強化について、追記したいと思います。

次に、「みえ森と緑の県民税制度運営事業」について、説明をお願いします。

（事務局）

【「みえ森と緑の県民税制度運営事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

【意見なし】

（委員長）

それでは、最後に「みえ森と緑の県民税基金積立金事業」について、説明をお願いします。

（事務局）

【「みえ森と緑の県民税基金積立金事業」の評価・提言について説明】

（委員長）

ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（委員）

評価・提言に、「取組の水平展開を図る」とありますが、「展開」でよいのではないでしょうか。

（委員長）

ご意見をふまえ「取組の展開を図る」に修正したいと思います。

前回委員会で、水源林の保全に向けた取組を実施できないかというご意見をいただいたかと思いますが、評価・提言には反映されていますでしょうか。

（事務局）
前回委員会では、水源かん養林の保全についてご意見をいただいたかと思いますので、水源かん養も含め「公益的機能の発揮に向けた計画的な森林づくりなど長期的視点に立った取組も積極的に実施されたい。」という評価・提言に盛り込んでいます。

（委員長）
了解しました。それでは「みえ森と緑の県民税基金積立金事業」の評価・提言に係る修正は以上とし、議事の「令和６年度基金事業の評価」については、終了といたします。
次に、その他の「令和７年度基金事業について」、説明をお願いします。

（事務局）
【資料３に基づき説明】

（委員長）
ご意見、ご質問などございましたらお願いします。

【意見なし】

（委員長）
それでは、令和７年度基金事業に関する議論は、以上とします。
今年度は、今後評価方法の見直しについて議論を進めていく予定としています。この機会に評価方法について、もし委員の皆さまから、何かご意見等ありましたら、この場でご提案いただければと思います。

（委員）
今回私たちが議論した令和６年度事業の評価・提言ですが、令和７年度はもう半分近く過ぎてしまっていることもあり、令和８年度事業に生きてくるものと認識しています。
令和６年度に引き続き令和７年度も継続して実施していく事業に関して、もしかすると、前年度と同じような評価をしなければいけなくなるケースもあるのではないかと思っています。先ほどご報告いただいた令和７年度事業について、市町交付金（基本枠）事業は、事業名・金額・事業概要が、簡単に書かれているだけで読み取りにくいです。事業経過などを、もう少し分かりやすい形で報告をいただけると、私たちも来年度に行う評価を意識して見ることができるのではないかと思います。

また、毎年度、事業成果発表会を開催していただいていると思います。私たち評価委員の意見は、すべて県を通して市町の皆さんに伝えていただいているかと思いますが、直接市町の皆さんとディスカッションできるような機会を事業成果発表会に設けたりするといいのではないかと思いますので提案させていただきます。

（事務局）
今回の評価・提言については、市町担当者会議を通じてフィードバックを行う予定としています。その場では、現在実施している令和７年度事業においても、できる限り反映していただけるよう働きかけを行っていきたいと考えています。
また、今年度の事業成果発表会は、11月11日火曜日に開催を予定しています。毎年度、委員長にはご出席をいただき、講評などをいただいているところですが、評価委員の皆さんと市町の皆さんとが直接意見交換する機会があるとよいと思いますし、そういった時間を設けることもできると思いますので、ご都合が合えばご出席いただけますと幸いです。

（委員長）
では、事業成果発表会については、事務局から委員の皆さまにご案内をお願いします。そして今ご意見がありましたように、評価委員会から各事業主体へのフィードバックやコミュニケーションについても、今後の評価の課題になりそうですので、今後の議論の中で検討していきたいと思います。
その他、ご意見などございましたらお願いします。

【意見なし】

議事としては以上になりますので、進行を事務局にお返ししたいと思います。皆さまご協力いただきありがとうございました。

（事務局）
【事務連絡】

（事務局）
【閉会挨拶】

【閉会】